

朗報!! ビールがアルツハイマー病予防に効果

ホップ由来のビール苦味成分であるイソα酸のアルツハイマー病予防に関する作用機序をキリンビールが東京大学、学習院大学と共同で世界で初めて解明、「第35回日本認知症学会学術集会」にて発表されました。

高齢者の増加に伴い、日本では460万人、世界では2,430万人近くの方が認知症を患っているとされ、大きな社会課題となっていますが、アルツハイマー病に代表される認知症には十分な治療方法が開発されておらず、

日々の生活を通じた予防に注目が集まっています。

適度な量の酒類の摂取は認知症の防御因子として報告され、特に赤ワインのポリフェノールは認知症への効果に関して多くの研究報告がありますが、ビールの成分についてはあまり研究が進んでいませんでした。

アルツハイマーの症状が進行するよう遺伝子操作したマウスを対象に、ビールの醸造工程でホップからできるイソα酸を混ぜたエサを3カ月間与えた結果、エサを与えたマウスの脳内では、与えられなかったマウスに比べ

て、アルツハイマーを引き起こし、進行させる原因となる「アミロイドβ」の量が低下、脳内の異物や老廃物を除去する免疫細胞の機能が良くなって、記憶を司る海馬の神経細胞が増加し、認知機能が改善されることが確認されたそうです。これはノンアルコールビールでも同じ効果があるそうです。

いずれにしても、これからは、「ビールばかり飲んで」と言われたら、「認知症予防のためです」と堂々と飲めますね・・・かな?(笑)

ヨシナカ新聞

8月号
発行所

株式会社ヨシナカ
東京営業所
TEL:03-3555-0796

K社員のドラム奮戦記

ピアノの演奏で休符が短くなってしまおうとM先生から指摘されていた私は、ドラムを習う事は私にとって有効かどうかを尋ねたところ、ドラムを習うことはリズム習得に最も適している、習う気持ちがあるなら絶対習った方が良く、M先生は強く勧められました。そこまで勧められるとこれはもう習うしかないなと思いい、楽器でのドラムのレッスンコースを尋ねたところ、来(2012年12月)からドラムの新しいグループレッスンのコースが始まること、女性の先生なので優しく教えて下さるので、是非ここから始められたらどうでしょうかと仰られました。また、火曜日の夜8時からのコースなので、仕事を終えてから受講出来るので、迷うよりとにかく始めてみようと思いい、レッスンの申し込みをM先生にお願いしました。

蚊にまつわる10の噂

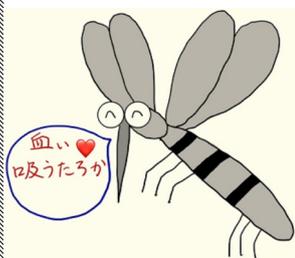
蚊にまつわる10の噂について、国立感染症研究所の昆虫医学部・沢辺京子部長の見解です。

①お酒を飲むと刺される。

○飲酒は体温が上がります、呼吸も増えるので、実際に刺されやすくなる。

②刺された患部にセロハンテープを貼ると、痒みが治まる

×皮膚の中でアレルギー反応が起きると、ヒスタミンが出て、非常に痒くなるので、貼っても効果なし。



③黒い服に

寄ってくる。

○かなり寄ってくる。白いズボンと黒いズボンで比べると、寄ってくる数にかなりの差が出る。

④血液型によって刺されやすい。

×血液型は全く関係なし。

⑤体温が高いと刺される。

○人の集団の中、体温の高い人や汗っかきの人に蚊は寄ってくる。汗で体臭などの成分と一緒に蒸発することで、その臭いに引き寄せられる。

⑥最後まで吸わせると痒みが少ない。

×血を吸う時に注入する蚊の唾液が痒みの元になるので、最後まで吸わせると唾液の量が少なくなって痒みが弱まるという噂。確かに唾液もある程度は一緒に吸い上げてくれるが、それで痒

みは弱まらない。

⑦蒸しタオルで痒みが治まる。

×効果なし。刺された患部を冷やした方が痒みは弱まる。

⑧二酸化炭素に寄ってくる。

○運動をして呼吸が荒くなっていると、それだけで蚊は寄りやすくなる。

⑨アロマ系の虫除けスプレーは効く

△不明。科学的な効果が実証されていない。使うかどうかは個人次第。

⑩爪で痕をつける。

×爪を押しつけて十字などをつけるのは子供の頃にやっていた人も多いかも。だが、どんな印の付け方をしても無駄。むしろ触ると余計に痒くなるので、触らないようにするのが良い。

ステンレス豆知識

ステンレス協会ホームページについて

久しぶりに『ステンレス協会』のホームページにアクセスしてみましたら、より充実して頂きましたので、紹介させていただきます。

トップページでは『ステンレスとは』『製品・規格』『統計』『出版・メディア案内』などのメニューから、それぞれ詳しく掲載されています。

『ステンレスとは』のメニューからは、特徴、選び方・使い方、製造工程、用途例、報告、Q&Aのサブメニューから詳細に記載されています。『製品・規格』のメニューからは、形状のメーカー項目で、鋼板、鋼帯、線材、線、鋼管、形鋼、平鋼・棒鋼を製造している主なメーカー中が掲載され、それぞれのホームページにアクセスすることが出来ます。また各社の表面仕上げについても記載されています。

また、統計のメニューからは、用途別受注統計が過去数年単位で記載されており、最近の動向を把握することが出来ます。